



横浜銀行 ニューヨーク駐在員事務所

週間トピックス Vol. 525 (2021. 6. 23)

<今週のトピックス>

ワクチン接種の特典メニュー

ニューヨーク州では、6月中旬に新型コロナウイルスワクチンを少なくとも1回接種した18歳以上の成人の割合が70%に達しました。このことを受け、ニューヨーク州は、オフィス、飲食店や、小売店などに対する収容人数の制限、ソーシャルディスタンスの確保、清掃・消毒の実施、健康診断の実施、追跡のための接触記録といった規制をすべて解除しました。公共交通機関などにおけるマスク着用の義務は維持されていますが、昨年3月に新型コロナウイルスパンデミックの震源地となったことを考えると、大きな節目を迎えたと言えます。

ワクチン接種が進んだ要因としては、ジャヴィッツ・センター (Javits Center)等の大型施設、ドラックストアや、地下鉄駅構内などの多くの場所で比較的容易にワクチンを接種できることや、ワクチン接種を促す広告による啓蒙活動が挙げられます。

また、ワクチン接種者向けの様々な特典もあります。例えば、地下鉄駅構内でワクチン接種をすると「1週間乗り放題のメトロカード」が貰えます。また、ヤンキーススタジアム等のスタジアムで野球観戦中に接種することができ、接種者は次戦以降の野球観戦のチケットが貰えます。さらには、宝くじや、接種会場までの送迎無料（配車サービスのウーバー等が提供）もあります。その他、ワクチン接種済みを証明するカードを提示すると、ドーナツ店やハンバーガー店ではドーナツやポテトが無料になります。最も驚いたのは、ニューヨーク州立大学やニューヨーク市立大学のワクチン接種者向けの奨学金です。高い学費が社会問題になっているアメリカでは、この特典は魅力的なのではないでしょうか。こうした特典を付与することによって、ワクチン接種を推し進めています。重症化リスクが低く、ワクチン接種に消極的な若者向けの特典が多い印象です。



このようにワクチン接種を進め、経済活動を再開しつつありますが、足もとでは、ワクチン接種は鈍化しています。バイデン政権は、目標としていた独立記念日の7月4日までにアメリカ全体で成人の7割が接種することは困難であるという認識を示しました。こうした状況を打開するため、あつと驚く特典が出てくるかもしれません。

(出所：Wall Street Journal)

- ・本レポートは情報提供のみを目的として作成したものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・ご利用に関しては、すべてお客さま自身でご判断くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
- ・本レポートは信頼できると思われる情報に基づいて作成していますが、当行はその正確性を保証するものではありません。
- ・本レポートのご利用によりお客さまがいかなる損失、損害を受けられても当行は一切の責任を負いません。
- ・本レポートはお客さま限りでご利用くださいますようお願いいたします。